



## 施設編 - セッション11

### 自己評価の質問

1. 低出生体重は、
  - a. 子どもたち発達に影響しない
  - b. 親許で暮らせない子どもたちでも、親許で暮らせる子どもたちでも、同等の頻度で発生する
  - c. 親許で暮らせない子どもたちの間で頻度が高く、子どもたちの発達に影響する
  - d. 妊娠中に母親から受けた虐待とは何ら関係がない
  
2. 赤ちゃんの集中力と前向きな姿勢は、
  - a. 赤ちゃん自身の個性によって決まるため、変えることはできない
  - b. 赤ちゃんに対して前向きで好奇心のある養育者との関係によって決まる
  - c. 赤ちゃんを絶えず叱る養育者との関係によって決まる
  - d. 上記のいずれにも該当せず
  
3. 親許で暮らせない子どもたちは、
  - a. 実親に育てられた子どもたちに比べると、一様に知能面で遅れが見られる
  - b. 実親に育てられた子どもたちと同様またはそれ以上の知能を発達させうるが、自尊心が低いとその能力を完全に発揮できない
  - c. 実親に育てられた子どもたちと同様に、身体面および精神面のどちらの観点からも発達する見込みがある
  - d. 身体面および精神面のいずれの観点からも、発達する見込みがない
  
4. 研究によると、親許で暮らせない子どもたちは、以下を経験する可能性が高い。
  - a. 無職
  - b. 大人になってからの正規教育の不足
  - c. 夫婦間の問題
  - d. 上記すべて
  
5. 学ぶことを身に付けるための二大前提は、
  - a. 明確な知覚と集中力である
  - b. 知能と即応能力である
  - c. 国語と算数の学力である
  - d. 言葉と気持ちを正確に話す能力である